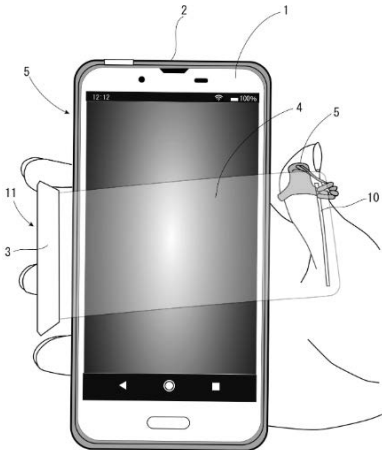


提供者名：柄本 智敏	福岡県開放特許	2023-010
タイトル：携帯通信端末の表示画面拡大装置		
技術分野 <input type="checkbox"/> 電機・電子 <input checked="" type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護	利用分野・適用製品 利用分野： 携帯通信端末 適用製品： 携帯通信端末の表示画面拡大装置	情報メモ 詳細資料： <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 サンプル： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見学： <input type="checkbox"/> 可 <input checked="" type="checkbox"/> 不可 その他：
従来技術の課題・問題点		
<p>小さな表示画面では、視力弱者、高齢者の方々には文字、画像等、視認しづらい。携帯通信端末の背面に板状レンズの収容部を形成し、その収容部から板状レンズを引き出し、その引き出した板状レンズを画面表面から所定距離を確保した位置に配置することによって、携帯利便性を実現し容易に使用可能とした携帯通信端末の表示画面拡大装置を提供する。</p>		
本発明の効果・特長		
<p>携帯通信端末の画面に、その画面表面から所定距離を確保した位置に板状レンズを配置する構成としたので、ディスプレイ上の微細な文字情報や画像情報であっても確実に視認できる。</p>		
技術概要（構造・動作等）		
<p>スマートフォンに適用したものであり、スマートフォンの背面に装着するカバーと、カバーとスマートフォンの背面に形成される隙間に配置したレンズホルダーと、そのレンズホルダーに収容された板状レンズと、板状レンズの先端に（指係止部）として、紐付きリングや、その他、を介して取付けられた主要な構成としている。スマートフォンは表側にディスプレイを備えた長形状の平板状の携帯通信端末である。そのスリットを利用して板状レンズをスライド自在としたことを特徴とする。レンズホルダーをスライド自在に支持したことを特徴とし、カバーにスリットを形成しそのスリットを利用して板状レンズをスライド自在としたことを特徴とする。携帯通信端末の表示画面拡大装置収容部から引き出した板状レンズを携帯通信端末の前面へ折り曲げて使用する構成とし、板状レンズの先端部分を指で操作して上下させることにより、拡大具合の調整が可能となる。すなわち、視力、明暗環境、体調等による視力変化、表示コンテンツの微細程度の状況に応じて、画面表面上と板状レンズの遠近を調整して、見やすい位置を選択しながら使用が可能である。しかも、携帯通信端末の背面にコンパクトに収容される。</p>		
図・特記事項・その他		
	【凡例】 1 スマートフォン 2 カバー 3 レンズホルダー 4 板状レンズ 5 リング 10 孔 11 折り曲げ部分	
主たる提供特許		関連特許番号
登録番号：特許第7348659号、出願日：2020年12月18日、 発明の名称：携帯通信端末の表示画面拡大装置 権利者／出願人：柄本 智敏		